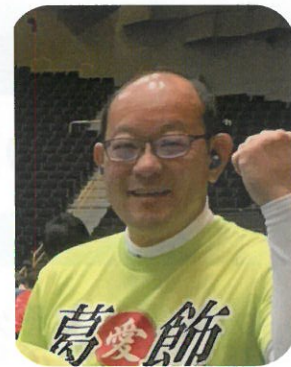




# のびのび

令和2年 春号 1-7



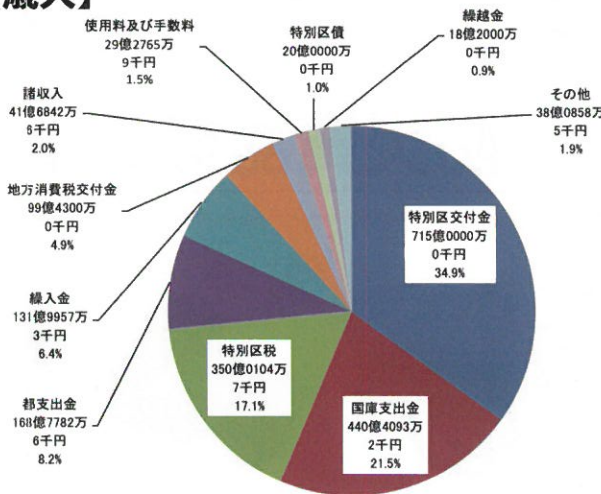
討議資料

## 新年度予算案が成立いたしました

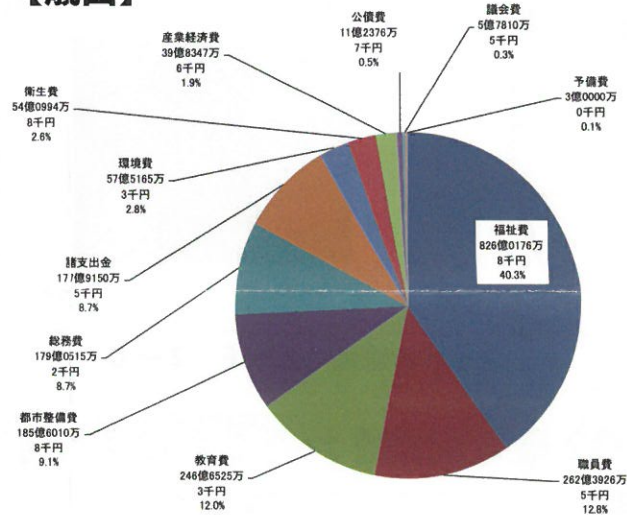
令和2年度は新型コロナウイルスへの緊急対応が迫られる厳しい経済状況の中でのスタートとなりました。4月7日は緊急事態宣言が出されました。新型コロナウイルスの猛威が1日も早く収まり、罹患・発症された方々が一刻も早く回復されることを祈ります。そして、収束後の生活が、ふたたび安全で安心できるものになるよう、区政をリードしてまいります。感染拡大防止へのご協力をこれからもよろしくお願い申し上げます。

## 葛飾区令和2年度予算

### 【歳入】



### 【歳出】



予算編成にあたっては、2年目となる後期実施計画を中心とする様々な施策を着実に進めていくため、対前年度54億円増となる基金繰入を行うなど財政対応力を最大限活用し区民の負担に応えられる予算として編成いたしました。

基本計画を貫く理念である「夢と誇りあるふるさと葛飾」の実現に向け、今後も「子育て環境の充実」や「教育環境の充実」「自助・共助・公助による災害対応力の強化」などの課題に果敢に取り組み、その実現をめざします。



会計予算説明書



広報かつしか

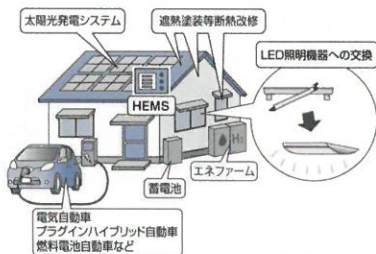
←詳しい予算については令和2年度葛飾区各会計予算説明書、広報かつしか2020年4月5日号をご参照ください。

## 葛飾区のゼロエミッション宣言！

近年、世界規模での災害や気候変動の拡大が心配です。2050年までに80%の温室効果ガスを削減、今世紀後半までに排出量を実質ゼロにする事を目指すと国が閣議決定したのを受け、葛飾区は令和2年2月6日に「2050年までに温室効果ガス（二酸化炭素）の排出量実質ゼロ」をめざすことを宣言しました。62の市区町村中で先頭を切った形です。今後はクリーンなエネルギーや省エネルギーを区民の生活に浸透させ、脱炭素社会の構築をめざします。2050年までに葛飾区の区域における二酸化炭素の排出量排出と吸収の差し引きで0以下にする事を目指すのが、

ゼロエミッションかつしか宣言です。

今年度もかつしかエコ助成金で太陽光発電システムの導入や断熱改修を行う際、費用の一部を補助します。今年度からホームエネルギーマネジメントシステム（HEMS）が新たに対象となります。



## 小学校体育館への冷暖房設置



以前から強く要望していた小中学校体育館への冷暖房設置が進んでいます。良好な教育環境の確保と災害時における避難所としての機能向上になりました。昨年度までに中学校体育館設置は完了し、今年度から2年に渡っての小学校体育館への設置が決まりました。授業の妨げにならないことを重視し、工事は7月～11月に行います。

【令和2年度 冷暖房機を設置する小学校】

白鳥、宝木塚、よつぎ、本田、梅田、渋江、南綾瀬、二上、小松南、亀青、金町、水元、青戸、清和、綾南、松上、柴原、原田、東柴又、飯塚、西亀有、東水元

力感謝 キ 協力 ク 工夫 ケ 健康 コ 向上心

私の目指す『心豊かな街』

1. 次代の葛飾を担う子ども達を地域で育む街
2. 子育てしやすく安心して暮らせる街
3. 健康寿命促進に地域で取り組む街
4. 若者が生涯住み続けたいと思う街
5. 高齢者が孤立しない街

カキクケコで葛飾をのびのびと！

『地域密着 一所懸命』高木信明（のぶあき）プロフィール

1962年12月28日生まれ、山羊座、O型 防災士。千鶴幼稚園、東綾瀬小学校、青葉中学校、都立東高校卒業。玉川大学文学部教育学科卒業、私立小学校にて31年間学級担任勤務。自由民主党東京都葛飾区第2支部長、自由民主党葛飾総支部青年部長。葛飾区議会建設環境委員会副委員長、危機管理対策特別委員会所属。お花茶屋地区まちづくり懇談会顧問。葛飾区社会福祉協議会委員他、地域に密着して活動しています。



災害時に頼りになる！

# 防災資器材って何でしょう？



大地震による火事や水害など、災害時にお世話になる様々な防災資器材。主に地域の防災倉庫や、学校避難所の災害備蓄倉庫に設置しております。



白鳥小学校備蓄倉庫

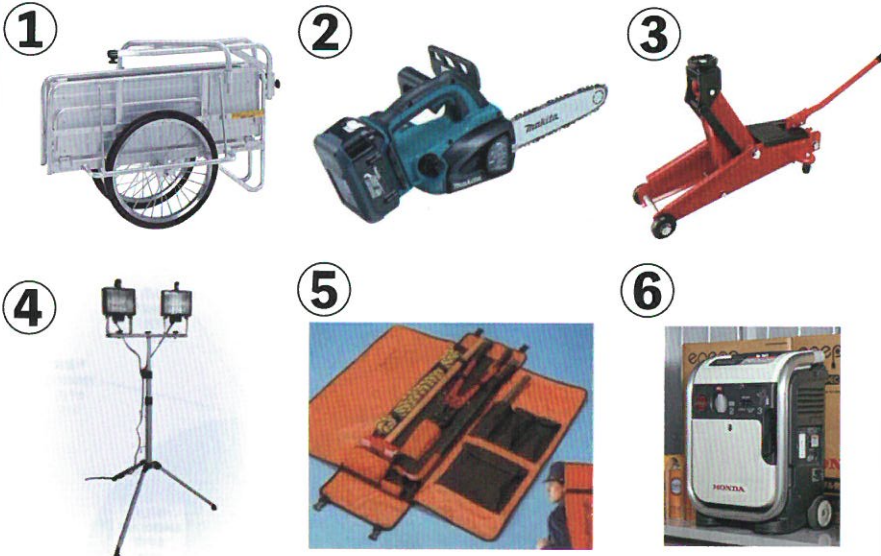
防災訓練や避難所開設訓練に参加すると「これは何に使うの？」という資器材が多いことに気がきます。「いざ」というその時に、使い方に詳しい消防団や町会役員が同席しているとは限りません。また阪神淡路大震災のように真っ暗な中での発生かもしれません。あわてないための準備をしましょう。まずは防災資器材について知りましょう。



消防団14分団によるAED訓練

## 防災資器材クイズ

Q1 写真の資器材は、何という、何に使うものでしょうか？  
写真①～⑥にあう説明 A～F を選んでください。



- A: 投光器  
発電機とつないで夜の避難所を照らします。
- B: レスキューキット  
リュック型なので一人でも持ち運びすることができる災害時に必要な救助用具のセットです。葛飾福祉工場製です。
- C: 電動チェーンソー  
鎖のような刃をした電動のこぎりのことで倒木を除去するときなどに使います。救助活動を容易にするために欠かせません。
- D: カセットガス発電機  
手に入りやすいカセットガスを使い、操作が手軽な上、最長 2.2 時間運転できる発電機です。
- E: 油圧ジャッキ  
家が倒壊した際、瓦れきを持ち上げての救助など、人間の力だけで「2～3トン」もの対象物を持ち上げ、隙間を拡げることができます。
- F: 折りたたみリヤカー  
災害時は自動車・トラックは動けません。車の入れない困難な道に入っていく、担架がわりで人命救助や物資の運搬にも大活躍します。

クイズの答え ①-F ②-C ③-E ④-A ⑤-B ⑥-D 防災訓練などで確認してみてください。もちろん使い方も(^\_^)

## Q2 最近配備されたこれは何でしょう？

この機会に使い方を覚えてください！

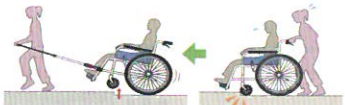
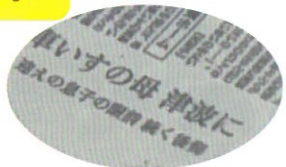


白鳥小学校備蓄倉庫

正解は…④

**着脱式車いす補助装置「JINRIKI」**です。  
現在、77カ所の学校避難所のうち44校に配備されています。東日本大震災の経験から開発された器具。段差や坂道など1人では乗り越えられない悪路を、人力車のように素早い移動が可能となります。

※JINRIKI は、ケアステーション ダッシュで教えていただきました。  
※資料写真はメーカーの HP からお借りしています。



- ① つえ
- ② 家具の転倒防止器
- ③ スタンドパイプ
- ④ その他

葛飾区は、安全安心なまちづくりのために、地域防災計画の見直しを行いました。これからも地域の生活を守っていただいている町会役員や避難所運営委員、消防団・市民消火隊の皆様へ、日頃のご尽力を感謝するとともに、緊急時には誰もがその役割を担えるような、安心して暮らせる地域づくりをしていきましょう。

もしも、まだ自治町会に未加入の方は、是非ともご加入されることをお勧めします。詳しくは地域振興課までお問い合わせください。

★皆様のご意見・ご要望をお聞かせください

日々の活動報告はこちらから

【発行人】葛飾区議会議員 高木信明  
【住所】〒125-0063 葛飾区白鳥 2-16-11  
【メール】takageta62@gmail.com  
【携帯電話】090-9368-2514  
【FAX】03-3601-9367

公式ホームページ 日々の活動報告

アメブロ

